

オディリア通信

あいあい

冬号(No.88)

R5年2月10日

社会福祉法人 聖オディリアホーム乳児院
〒165-0031 東京都中野区上鷲宮 5-28-28
TEL (03)5971-8071 FAX (03)5971-8073
Eメール odilia@guitar.ocn.ne.jp
ホームページ <http://odilia.jp>

基本理念 「愛をもって、愛を育てる」

明けましておめでとうございませぬ。
今年も朝晩、特に厳しい寒さが続きます。
室内は暖房のほかに、大型加湿器をつけ、
乾燥を防いでいます。新型コロナウイルス
の感染予防対策も欠かせないので、換気し
ながら温度や湿度に気をつけて生活して
います。

2歳児の女の子は、散歩にでかけるため、
新しい帽子をかぶると「かわいい」と話し
ます。保育者が「かわいいね」と答えると、
嬉しそうに笑い、鏡を見て自分の姿を確認
していました。公園では、繰り返し滑り台
で遊び、お友だちとねじしゃりしてぐすく
りっこをして笑い合っていました。また、
ある児は、保育者と1対1で公園にでかけ、
季節を感じながら落ち葉を拾ったり追いか
けっこを楽しみました。子ども達は日々
たくさんのことを経験し、じつじつといく
つものできごとを積み重ね成長・発達して
いきます。

今年も、退所した子ども達やたくさんの
関係機関の方々から年賀状が届き、とても
うれしく思いました。とてもありがとござ
います。子ども達、保護者、里親の方々
が毎日を心豊かに暮らせるように私たち
も一層努力していきます。

施設長 鎌倉 道子

	月	月	月
身長	cm	cm	cm
体重	g	g	g



🎄 クリスマス 🎄

十二月二十五日は、みんなが待ちに待ったクリスマス。サンタさんが出てくる絵本やテレビを観て「サンタさんまだっ」と楽しみにしていました。いざ、サンタさんと対面すると緊張で固まってしまっ子ども、嬉しく抱っこをしてもらっ子どもなど様々な姿が見られました。みんなプレゼントを買って大はしゃぎでした。

お風はクリスマスメニューのバイキング。たぐさんのメニューに「すごい」と驚く子どもたち。おにぎりやウィンナー、果物などそれぞれ大好きなものをお替わりして食べていました。ケーキのサンタさんの飾りを見つけると「サンタさんだー」「さっきサンタさん来たね」と午前中の出来事を振り返り喜ぶ子どもたち。プレゼント、美味しい食事にケーキと嬉しい瞬間の一日になりました。



(保育士 今泉)

🍡 お正月 🍡

『明けましておめでとございませう。』新年を迎え、各部屋からは新年の挨拶が聞こえてきました。お正月は新しい洋服に着替えて、お正月飾りの前で記念撮影をします。



お正月という行事が初めてで、不思議そうな表情の子どももいましたが、新しい洋服に着替えると嬉しそうにしており、とびきりの笑顔で写真を撮りました。

風食はおせち料理です。重箱の中を興味深そうにのぞき込む子どもたち。初めて見る料理にわくわくした表情をしています。伊達巻や黒豆、かまぼこなど美味しいおせちをたくさん食べて大満足です。今年も一年子どもたちが健やかに元気よく過ごせますように。

(保育士 竹内)

🍒 節分 🍒

ついこの間お正月を迎えたと思ったら、あっという間に節分の季節になりました。節分の日に「鬼は外、福は内」と大きな声で豆を鬼に投げつけて追い払うと一年間、無病息災で過ごせると言われています。節分の日を迎えるまで子どもたちは鬼の絵に塗り絵をしたり、「鬼のパンツ」や「まめまき」の歌を保育者と一緒につたって過ごしていました。

当日は鬼の絵が描かれている模造紙を壁に貼り、豆に見立てたお手玉を鬼の絵に目掛けて投げつけました。それまでは元氣よく参加していた子どもたちでしたが、実際に鬼が登場すると「こわい、こわい」と泣き出す子どもも興味を示しじっと鬼を見つめる子ども、反応は様々でした。最後は勇気を振り絞って「バイバイ」と言いながら豆を投げつけ、子どもたちなりに無事に鬼を追い払うことができました。

(保育士 高橋)

里親支援機関の紹介

四月から中野区より里親支援事業の委託を受け「さとおやこほっとステーションあいりす」の愛称で事業を行っています。

私達は、里親の普及啓発やPR活動、里親さんや区民向け研修の実施、里親サロンの運営、区内里親家庭等への家庭訪問や相談業務、また自立により里親宅を築立った方に関する相談や支援を行っています。

普及啓発活動

一人でも多くの中野区民の皆様へ、里親制度を知ってもらえるよう、養育体験発表会や里親制度説明会を実施しています。

また、十月から十一月の里親月間には中野区内の駅構内や郵便局、バスにポスターを掲示し、駅や郵便局、図書館にて、里親普及啓発グッズの配布を行いました。

十月には、映画『育ててくれて、ありがとう。』の上映会を行い、多くの里親さんや区民の皆様へ足を運んでいただきました。



※中野郵便局での様子

里親サロン

月に一回、里親同士の交流の場として『ほっとカフェあいりす』を運営しています。様々な企画を用意し、里親の皆さんがほっとできる、アットホームで温かいサロンを心がけています。

子どもと一緒に楽しめる『手作りサロン』や、青空の元で公園にて親子で遊びながら交流する『ピクニックサロン』、忙しい里親の皆さんに癒しの時間を提供した『アロマ&マッサージサロン』、外国籍の里親さんが気軽に英語でおしゃべりを楽しめる『英語サロン』など、あいりすならではのサロンの中で、おしゃべりを楽しんでいただいています。

※手作りサロンでの作品



研修

里親の養育力向上を図る研修(フォローアップ研修)、里親トレーニング(スキルアップ研修、養育体験)、専門養育家庭里認定研修(実習部分)、専門養育家庭里親更新時研修、などを年間通して実施しています。

里親フォローアップ研修は、素敵な講師

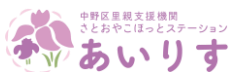
の方々をお招きし、里親さんをはじめ私達児童福祉に関わる職員にとっても、大変参考になる内容となっています。

また、区内在住・在勤の皆様にも参加していただくため、研修を通じて区内の方々にも里親制度を理解していただく一助となっています。



相談支援

中野区の里親さんや里親家庭で生活している子どもたちの相談支援を行っています。子育ての悩みに耳を傾けたり、育児に関するアドバイスをしたり、里親家庭で生活している子どもたちの進学や自立に向けての、お手伝いをしています。



ナースの一言アドバイス

「これからますます寒くなり、インフルエンザや胃腸炎が流行する時期になります。そこで今回は胃腸炎についてお伝えしていきます。

『胃腸炎とは?』

胃腸炎は吐き気や嘔吐、下痢等胃腸の症状が主にでる病気です。熱が出ることもあります。原因のほとんどは集団生活で感染するウイルス性ですが、食べ物や水から感染する細菌性のももあります。

『予防策』

「手洗いをすること」が重要ですが、オムツを替えた後、嘔吐物の処理の後等こまめに手洗いをしましょう。

『嘔吐物や便の処理』

嘔吐物は手袋とマスクをして、ペーパータオルなどで飛び散らないように静かに拭き取ります。乾燥してしまつと空気中に飛び散って空気感染の原因になる為、早めに拭き取ることが大切です。使用したペーパータオルなどは、袋に入れて捨てましょう。



拭き取った後は、次亜塩素酸ナトリウム（ハイター等）を水で薄めたもの（ハイターはペットボトルのキャップ2杯十水は500cc）をまいて、乾いた布巾で拭いて乾燥させます。汚染されたものは袋に入れて破棄しますが、衣類など再利用したい場合は次亜塩素酸ナトリウム水で20分以上つけます。その後はしっかりと手洗いをしましょう。

『脱水予防』

少量でこまめな水分補給が大切です。吐いている時も、スプーンで1杯ずつでもいいので、少しずつ水分を摂るようにしましょう。OS-1等経口補水液がおすすですが、子どもが好きなジュースでも良いです。根気よくあげて、脱水を予防しましょう。

『症状の目安』

- ・ぐったりしていて顔色が悪い時
 - ・腹痛が強い時
 - ・半日以上吐き続ける時
 - ・血便や血尿が出ている時
 - ・尿の回数が減っている時
- このような症状がある時は緊急性が高い為、すぐ受診しましょう。



(看護師 橋本)

今後の行事

- 3月 ひなまつり
- 4月 イースター
- 5月 子どもの日



お知らせ

聖オディリアアホーム乳児院のホームページがあります。合わせてご覧下さい。

<http://odilia.jp>

☆編集 後記☆

寒さが一段と身に染みるこの季節。子どもたちは寒さに負けず散歩や院庭で元気に動き回っています。子どもたちの活発な姿を見ていると不思議と寒さも忘れてしまいます。

よく遊び、よく食べ、よく寝て。感染症にも負けない元気な体をつくっていきましょう。

(保育士 高橋)